

# あ・そ・ぼ




2024年6月22日(土)から  
10月6日(日)まで

いわさきちひろ ぼつご 50ねん  
こどものみなさまへ

展覧会ディレクター  
近森基+小原藍(plaplaX)

企画協力  
森口佑介



 ちひろ美術館・東京

# いわさきちひろ ぼつご50ねん こどものみなさまへ

いわさきちひろ ぼつご50ねん こどものみなさまへ  
展覧会スケジュール

## あ・そ・ぼ

2024年3月1日(金)～6月2日(日) 安曇野ちひろ美術館  
6月22日(土)～10月6日(日) ちひろ美術館・東京

## あれこれいのち

3月1日(金)～6月16日(日) ちひろ美術館・東京  
9月7日(土)～12月1日(日) 安曇野ちひろ美術館

## みんななかまよ

6月8日(土)～9月1日(日) 安曇野ちひろ美術館  
10月12日(土)～2025年1月31日(金) ちひろ美術館・東京

展覧会特設サイト

<https://chihiro.jp/2024kodomom>

## ちひろから、いまのこどもと、 かつてのこどものみなさまへ――

2024年はいわさきちひろの没後50年。

半世紀のときを超えて、ちひろの絵が語りかけてくるものとは……？

「あそび」「自然」「平和」の3つのテーマから、

現代科学の視点も交えて、ちひろの絵を読み解きます。

子どもも大人も見ただけでなく参加したくなる、

今までにないちひろの展覧会です。

## いわさきちひろ (1918～1974)

福井県武生(現・越前市)に生まれ、東京で育つ。東京府立第六高等女学校卒。藤原行成流の書を学び、絵は岡田三郎助、中谷泰、丸木俊に師事。第二次世界大戦後、紙芝居や教科書、絵雑誌、絵本など子どもの本を中心に画家として活躍。生涯にわたって子どもや花を描き続けた。1974年没、享年55。現存する作品は約9600点。



## 展覧会ディレクター

### 近森基+小原藍 (plaplaX)

インタラクティブな作品制作を軸に、展覧会の展示構成、空間演出、映像コンテンツの企画制作など幅広く活動する。さまざまな手法やメディアを使って、創造的な学びや発見のある体験づくりに取り組む。2018年、「いわさきちひろ生誕100年『Life展』あそび plaplaX」をちひろ美術館で開催。



無垢な子どもたち、美しい自然、平和への願い。

これらは、ちひろさんが生涯を通して描いたテーマです。

没後50年にあたる1年間、改めてこのテーマと向き合おうとしたとき、〈科学の目〉を通してみることを考えました。とはいえ難しい知識や情報を駆使するわけではありません。目の前のものの“ありのまま”をよく見て受け止め、そこから出発する。科学の目は、特別な人が難しいことを考えるためのものではなく、だれもが見慣れた風景を、新たな発見にあふれた豊かな世界に変化させるまなざしだと思ったのです。本来子どもたちは、そんな風の世界を見つめているかもしれません。

会場で作品を見たり触れたり、体を動かしたり。子どもも大人も「わあ！これはなんだ？」とわいわいっしょになって進んでいく。そんな展覧会のあり方を目指しました。

## 「あそび」展 企画協力

### 森口佑介(京都大学准教授/発達心理学、認知科学)

専門は発達心理学・発達認知神経科学。子どもを対象に、認知、社会性、脳の発達を研究する。また、保護者や子どもに関わる仕事をしている人への講演などを通じて、子どもの発達に関する知見を広く発信している。



大人にとっては仕事が生活の中心ですが、子どもにとって生活の中心はあそびです。心理学では、子どもはあそびを楽しむことで毎日を元気に過ごすことができ、大人になる準備をしていると考えられています。また、子どもは、どんなつまらないことも、あそびにして楽しむことができます。いわさきちひろの絵は、このような子どものあそびの本質をしっかりとらえています。なにより、子どもの視点からあそびを描いているところがちひろのすばらしさです。本企画では、このようなちひろの絵を、みなさまにあそびながら見ていただきたいと思っています。

## 図版について

本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。

ご希望の方は、別紙「広報用作品画像データ貸出依頼書 兼 借用誓約書」をご覧ください。

※必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。※トリミングや文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。

※データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。※掲載紙/誌をご送付ください。



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団

ちひろ美術館・東京

[chihiro.jp](http://chihiro.jp)



お問い合わせ

広報担当 松方・原島・北村

〒177-0042 東京都練馬区下石神井4-7-2

TEL.03-3995-0772 (業務用) FAX 03-3995-0680

TEL.03-3995-0612 (代表)

E-mail : [publicity@chihiro.or.jp](mailto:publicity@chihiro.or.jp)

いわさきちひろ ぼつご50ねん  
こどものみなさまへ  
あ・そ・ぼ

2024年6月22日(土)～10月6日(日)

ちひろ美術館・東京

主催：ちひろ美術館  
展覧会ディレクター：近森基+小原藍(plaplax)  
企画協力：森口佑介  
協力：株式会社ジャクエツ 大木洋平(OKI FURNITURE&DESIGN)  
助成：公益財団法人乃村文化財団  
後援：絵本学会、(公社)全国学校図書館協議会、(一社)日本国際児童図書評議会、日本児童図書出版協会、杉並区教育委員会、西東京市教育委員会、練馬区



1 いわさきちひろ そうじをする子ども 「ひとりのできるよ」(福音館書店)より 1956年

## いつでも どこでも なんでも あそびに…

いわさきちひろの絵のなかの子どもたちは、なんでもあそびにしています。ぬいぐるみを友だちにする子、雨の日に水たまりであそぶ子、そうじまであそびとして楽しんでいる子もいます。子どもはあそびながら、世界を探索し、知識を獲得していきます。

本展では、ちひろの絵を見ることを「あそび」にします。アートユニットplaplaxによる《絵を見るための遊具》を展示室に展開するほか、絵のなかであそぶインタラクティブな作品も展示します。また、発達心理学の視点からもちひろの絵を読み解きます。子どもも、かつて子どもだった大人も、のびのびとちひろの世界を楽しむことができると同時に、あらためて子どもやあそびについて知り、子どもの今と未来について考える展覧会です。

## 展覧会の見どころ

## 1 なんでもあそびにする子どもたち

ちひろの絵のなかの子どもたちは、なんでもあそびにしています。ごっこあそびやかけっこはもちろん、雨の日に水たまりであそんだり、ときにはそうじの手伝いもあそぶように楽しんでいます。これは、子どものあそびの本質的な部分といえます。森口佑介氏の協力のもと、子どもにとって大切なあそびとはなにかを、ちひろの絵を通して紹介します。

## 2 ちひろの絵から子どもの心を読み解く

絵本『ぼちのきたうみ』について、「大人とは異なる、子どものありのままの心の世界が描かれているように感じられる」と森口氏は語ります。また、ちひろの色使いに注目すると、背景の色が描かれた人物や状況の心の色を反映していると思われる作品もあります。

発達心理学の視点から、ちひろがどのように子どもの心を表したのかを読み解きます。



2 いわさきちひろ 小犬と雨の日の子どもたち 1967年



3  
いわさきちひろ  
おつむてんでん  
1971年



4 いわさきちひろ うきぶくろで泳ぐ少女  
『ぼちのきたうみ』(至光社)より 1973年



6 いわさきちひろ 「まきぼのうし」 1969年



5  
いわさきちひろ  
絵をかく女の子  
1970年

## 図版について

本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。

ご希望の方は、別紙「広報用作品画像データ貸出依頼書 兼 借用誓約書」をご覧ください。

※必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。※トリミングや文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。

※データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。※掲載紙/誌をご送付ください。



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団

ちひろ美術館・東京

chihiro.jp



お問い合わせ

広報担当 松方・原島・北村

〒177-0042 東京都練馬区下石神井4-7-2

TEL.03-3995-0772 (業務用) FAX 03-3995-0680

TEL.03-3995-0612 (代表)

E-mail: publicity@chihiro.or.jp

## 展覧会の見どころ

## 3 美術館があそび場に

展示室には plaplax の新作《絵を見るための遊具》が点在しています。のぼって、くぐって、のぞいて、ときには音に耳を澄ませて……。遊具には、子どもがついあそびたくなるしかけがいっぱい！本展では、ちひろの絵を見ることもあそびにします。

## 4 ちひろの絵とあそぶ

紙のうゑに水彩絵の具の色がにじむように、動きにあわせて足もとに色が広がる《絵の具の足あと》（2018）。ちひろの絵本『あめのひのおるすばん』から着想を得た新作《まどのらくがき》は、絵本の一場面のように、雨の日の窓ガラスに落書きをするような体験ができます。plaplax によるインタラクティブな作品でのびのびと体を動かしながら、ちひろの絵の世界にあそぶことができます。



7 plaplax 絵の具の足あと 2018年



8 plaplax 絵の具の足あと 2018年



9 plaplax 絵を見るための遊具 2024年



10 plaplax 絵を見るための遊具 2024年

いつもと すこし ちがう めせんで  
 わたしも ぼくも あなたも きみも  
 さあ さがしてみてください  
 きっと なにかが みつかるでしょう  
 ちょっと のぞいたり のぼったり  
 ひみつの しかけが あるかもよ  
 ろうにゃくなんによ みな みな あ・そ・ぼ  
 plaplax

11 いわさきちひろ 窓ガラスに絵をかく少女  
『あめのひのおるすばん』（至光社）より 1968年

12 plaplax まどのらくがき 2024年

## 図版について

本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。

ご希望の方は、別紙「広報用作品画像データ貸出依頼書 兼 借用誓約書」をご覧ください。

※必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。※トリミングや文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。

※データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。※掲載紙/誌をご送付ください。

## 展覧会関連イベント

### ● 森口佑介講演会「ちひろの絵からみる子どもの発達」

日時：9月28日(土) 14:00～15:30 / 参加費：800円

講師：森口佑介(京都大学准教授・発達心理学、認知科学)

定員：ちひろ美術館・東京 図書室：20名、オンライン：80名

申し込み：要事前予約(8/28より公式サイト、Tel.にて)

「あ・そ・ぼ」展の企画協力者である森口氏が、ちひろの絵をもとに子どもの特性や発達などについて語ります。

### ● わらべうたあそび

日時：7月6日(土) 11:00～11:40

講師：服部雅子(西東京市もぐらの会代表、はとさん文庫主宰)

参加費：無料(入館料別)

対象：0～2歳児と保護者 / 定員：8組16名

申し込み：要事前予約(6/6より公式サイト、Tel.にて)

### ● 松本猛ギャラリートーク

日時：8月4日(日) 14:00～14:30

参加費：無料(入館料別) / 申し込み：不要

ちひろのひとり息子である松本猛(ちひろ美術館・常任顧問)が、展覧会の見どころや、母・ちひろの思い出を話します。

### ● ちひろ忌・アトリエトーク

日時：8月8日(木) 11:00～14:00

参加費：無料(入館料別) /

申し込み：不要

いわさきちひろの50年目の命日に、ちひろの復元アトリエにて、制作の舞台裏や愛用の品などちひろにゆかりのあるお話をします。



### ● 出張「子育ての広場」

日時：9月18日(水) 10:00～15:00 / 参加費：無料(入館料別)

申し込み：不要 / 協力：NPO手をつなご

展覧会を見る前後に、「こどもの部屋」で遊んだり、保育の専門家とおしゃべりしたりしませんか。

### ● あかちゃんのための鑑賞会

日時：7月28日(日) 10:30～12:00

講師：富田めぐみ

(NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会 代表理事)

対象：0～2歳の乳幼児と保護者 / 参加費：無料(入館料別)

定員：8組 / 申し込み：要事前予約(6/28より公式サイト、Tel.にて)

### ● 子どものための鑑賞会

日時：8月18日(日)

10:30～12:00

講師：富田めぐみ(NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会 代表理事)

対象：3～6歳の子どもと保護者

参加費：無料(入館料別)

定員：8組 / 申し込み：要事前予約

(7/18より公式サイト、Tel.にて)



## その他のイベント

### ● 開館記念日 たてものツアー

日時：9月10日(火) 11:00～14:00

参加費：無料(入館料別) / 申し込み：不要

ちひろ美術館・東京(設計：内藤廣)の魅力を館内をめぐりながらお話しします。

### ● 敬老の日 9月16日(月)

65歳以上の方は無料でご入館いただけます。

(受付にてお申し出ください。)

### ● ギャラリートーク

日時：毎月第1・3土曜日 14:00～14:30

参加費：無料(入館料別) / 申し込み：不要

### ● 絵本のじかん

日時：毎月第2・4土曜日 11:00～11:30

参加費：無料(入館料別) / 申し込み：不要

協力：NCBN(ねりま子どもと本ネットワーク)



本を読んでもらうあかちゃん  
「育児の百科」(岩波書店)より  
1967年

\*最新のイベント情報は公式サイトでご案内しています。



積み木で遊ぶ子どもたちとあかちゃん  
「育児の百科」(岩波書店)より 1967年

#### 展覧会基本情報

展覧会名	いわさきちひろ ぼつご 50ねん こどものみなさまへ あ・そ・ぼ
会期	2024年6月22日(土)～10月6日(日) ※会期は予告なく変更になる場合があります。 ○開館時間＝10:00～17:00 (入館は閉館の30分前まで) ○休館日＝月曜日(祝休日は開館、翌平日休館) ※8/13は開館
入館料	大人1200円 / 18歳以下・高校生以下無料 団体(有料入館者10名以上)、65歳以上、学生の方、18歳以下の子どもに同伴する保護者(子ども1名につき2名まで)は900円 / 障害者手帳ご提示の方とその介添えの方(1名)は無料 / 年間パスポート3000円
交通	○電車の場合＝西武新宿線 上井草駅下車徒歩7分 ○バスの場合＝JR中央線荻窪駅より西武バス石神井公園駅行き(荻14) 上井草駅入口下車徒歩5分 / 西武池袋線石神井公園駅より西武バス荻窪駅行き(荻14) 上井草駅入口下車徒歩5分

\*イベントおよび開館情報、会期、展示名は予告なく変更になる可能性があります。最新情報につきましては、公式サイトをご覧ください。お問い合わせは、お電話でお問い合わせください。